

第2期江東区地域福祉計画 基本理念（案）

江東区で実現すべき地域福祉の将来像である基本理念は、第1期計画を継承するものとし、区と両輪で地域福祉を進める江東区社会福祉協議会の「第5次江東区地域福祉活動計画（令和6年度～11年度）」と理念・目標を共有しながら、取り組みを着実に進めていきます。

区全体に地域福祉が広がることにより、区のまちづくりの基本的な指針である「江東区基本構想」（平成21年3月13日議決）の『ともに支えあい、健康に生き生きと暮らせるまち（福祉分野の目指すべき姿）』の実現に寄与していきます。

〔基本理念〕

**一人ひとりの尊厳が守られ、地域でともに支えあい、
誰もが笑顔で安全に暮らせるまち**

〔基本理念に込めた想い〕

一人ひとりの尊厳が守られ	地域でともに支えあい	誰もが笑顔で安全に暮らせるまち
多様な価値観をお互いに認めあい、一人ひとりの権利が大切にされる地域社会を表します。	制度や分野の垣根を取り払い、「支え手」「受け手」という関係を超えて、どんな時も寄り添い、助けあう活動が広がる地域社会を表します。	区民、地域、団体、企業等のつながりの中で誰もが安全に安心して自分らしく生き、すべての老若男女に自然と笑顔があふれる地域社会を表します。

（参考）区の他計画の基本理念

- ・「ともに支えあい、健やかに生き生きと暮らせる地域社会の実現～地域包括ケアシステムの成熟～」 （高齢者地域包括ケア計画）
- ・「共生社会の実現」、「障害者の自立支援」、「安心して暮らせる社会の実現」 （障害者計画）
- ・「みんなで支えあい、こども・若者たちが心から『生まれてきて良かった』と実感できる社会」 （こども計画）